

経営比較分析表（令和2年度決算）

秋田県横手市 横手病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	17	対象	ド透訓	救臨感輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
87,452	16,112	非該当	非該当	7：1

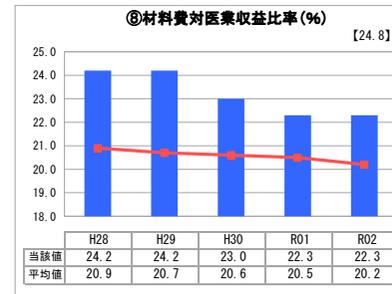
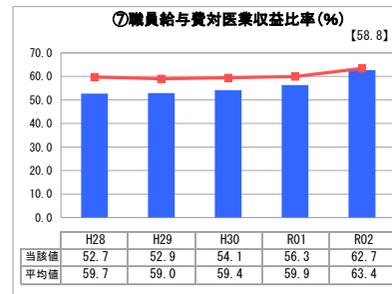
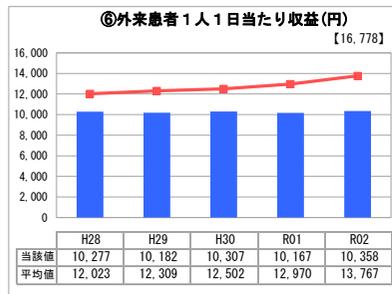
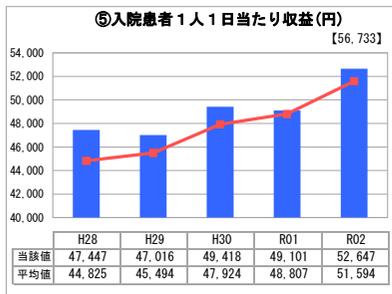
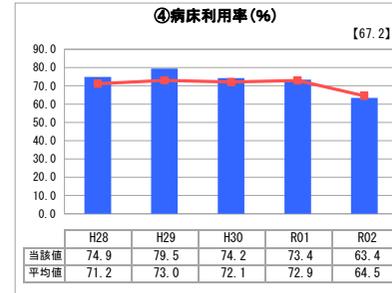
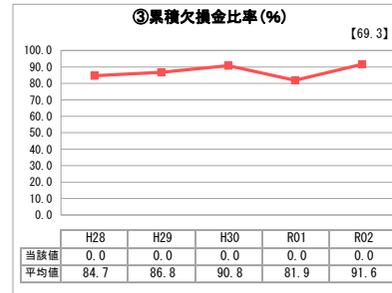
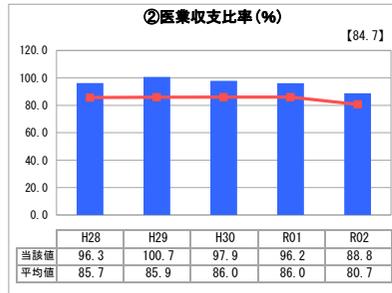
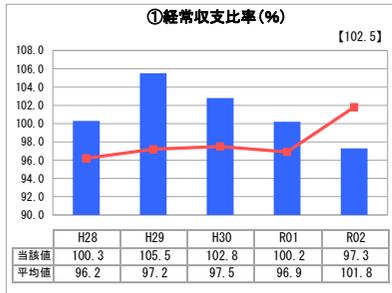
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

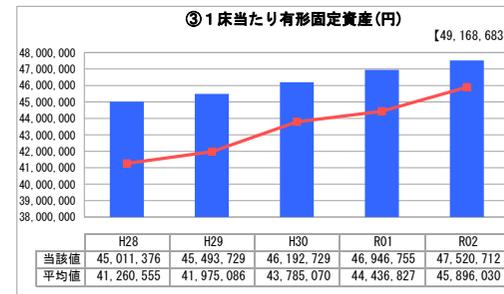
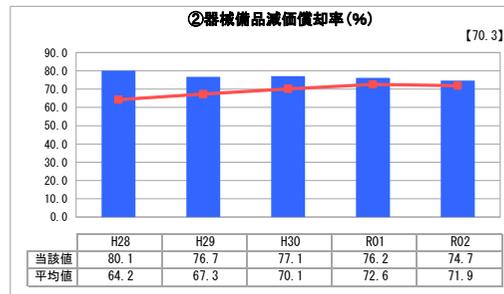
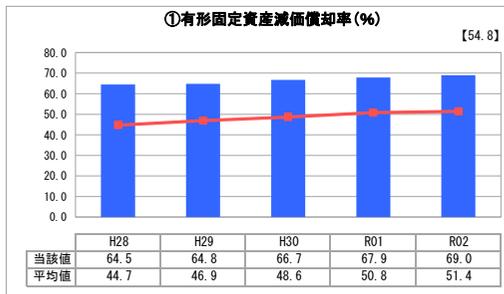
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
225	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	229
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
179	-	179

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

地域に必要な医療を公平・公正に提供し、住民の生命と健康を守り、地域の健全な発展に貢献することを目的とし、県南唯一の消化器センターを設置し、他地域からも多くの患者を受け入れている。
在宅療養後方支援病院として、地域包括ケア病棟を開設し、多職種の医療従事者が在宅・施設での療養に繋がる連携を行っている。
また、第2種感染症指定医療機関として、秋田県内の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性を示す各指標は、新型コロナウイルス感染症患者受け入れのための病床確保や院内改修の影響により、病床利用率及び患者数が減少し、前年度と比較しマイナスとなっている。
効率性を示す指標については、入院患者1人1日あたり収益の伸びは、令和2年度の診療報酬改定による医療機関別係数の上昇と、主に化学療法などの症例の分岐によるもので、材料費対医業収益比率は、材料費を含む高額手術件数が類似病院と比較し多いことが考えられる。

2. 老朽化の状況について

施設及び器械備品の老朽化が平均値より進行している。施設については、3棟のうち1棟及び屋外の受水槽・地下重油タンク等施設の移設及び給食厨房改装等を盛り込んだ病院施設整備計画を策定、基本設計・実施設計の実施、次年度までの2か年で施工している。
一方、1床当たり有形固定資産については、年々、平均値に近づいてきているものの、まだ上回っている状況であり、H29年度のCT装置入替、R元年度の電子カルテシステム等の更新及び上記の施設改修もあることから、平均値との乖離は広がるものと思われる。

全体総括

経営的に今後も急性期病棟と地域包括ケア病棟の効果的な運用により、安定的経営を図ろうとするものであるが、人口減少に加え新型コロナウイルス感染症の感染拡大により患者数はさらに減少し、極めて厳しい病院経営となることが予想される。
また、施設・医療機器・医療情報システムの老朽化に伴う改築・更新や人件費等費用の増大が見込まれることから、必要病床数の検討と患者一人当たりの収益増に努め、経営の効率化を図っていく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。